

モニターアームV8 組立説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本製品をご使用の時は、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご不明な点やご相談がございましたら、お気軽にご連絡をお願いします。

安心の5年保証

延長保証は下記にてご連絡ください!



LINE

- 延長保証(1年→5年)
- アフターサービス
- お問い合わせ

何か問題や確認したいことがございましたら、公式LINEで出品者と連絡を取りましょう。



WEBサイト

- 延長保証(1年→5年)
- ご利用ガイド
- Q&A(よくある質問)
- サポート情報
- お問い合わせ

WEBサイトで出品者と連絡を取り、サポート情報や延長保証をGET!

何か問題や確認したいことがございましたら、お気軽にご連絡ください。

 LINE:@639zkmib

 WEBサイト:<https://www.exljzdp.com>

 E-mail:Exljzdp@outlook.com

安全上のご注意

- ❗ 本製品には小さい部品が含まれています。小さなお子様が進み込まないよう、手の届かないところに保管してください。
- ❗ 本製品を装着するデスクの天板の強度が長時間でモニターを取り付けた本製品に耐えられることをご確認のうえ、設置してください。不安定なところや振動が発生しやすい場所に設置しないでください。
- ❗ アームの可動部に指や手を挟み込まないよう注意してください
- ❗ 各部品を取り付ける際は、固定用のネジなどがしっかり固定されて、アームやモニターも確実に取付けたことを確認してください。ただ、強度調節用のネジは強く締めすぎないでください。
- ❗ 取り付けたいモニターの重量が本製品の耐荷重範囲内(最大11kg)であることをご確認のうえ、お使いください。
- ❗ モニターの取付けに適したネジの長さは各ディスプレイによって異なります。長すぎるとモニターを壊す可能性があります。また、短すぎるとモニターがしっかりと固定できず、脱落する恐れがあります。必ずモニターの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどをご確認の上、取付用のネジを用意してください。
- ❗ モニターの落下によるけがなどの事故や故障を防ぐため、ディスプレイの取り付け作業は二人以上で行うのをお勧めします。
- ❗ 使用中にアームやモニターの動きに緩みやガタツキが生じた場合は、締め具でしっかり締め直してください。異常のまま使用しますと、モニターの転倒や落下により、けがや故障の原因となります。定期的なメンテナンスを実施することをお勧めします。
- ❗ 落下する恐れがあるため、モニターを天板の外にでる状態での使用は避けてください。
- ❗ 可動部の動きをスムーズにするために、事前に潤滑剤を少量塗っています。組立ての中、手や服を汚さないようご注意ください。
- ❗ 不当な組み立てや使用により生じた事故や損害については、弊社は責任を負いません。

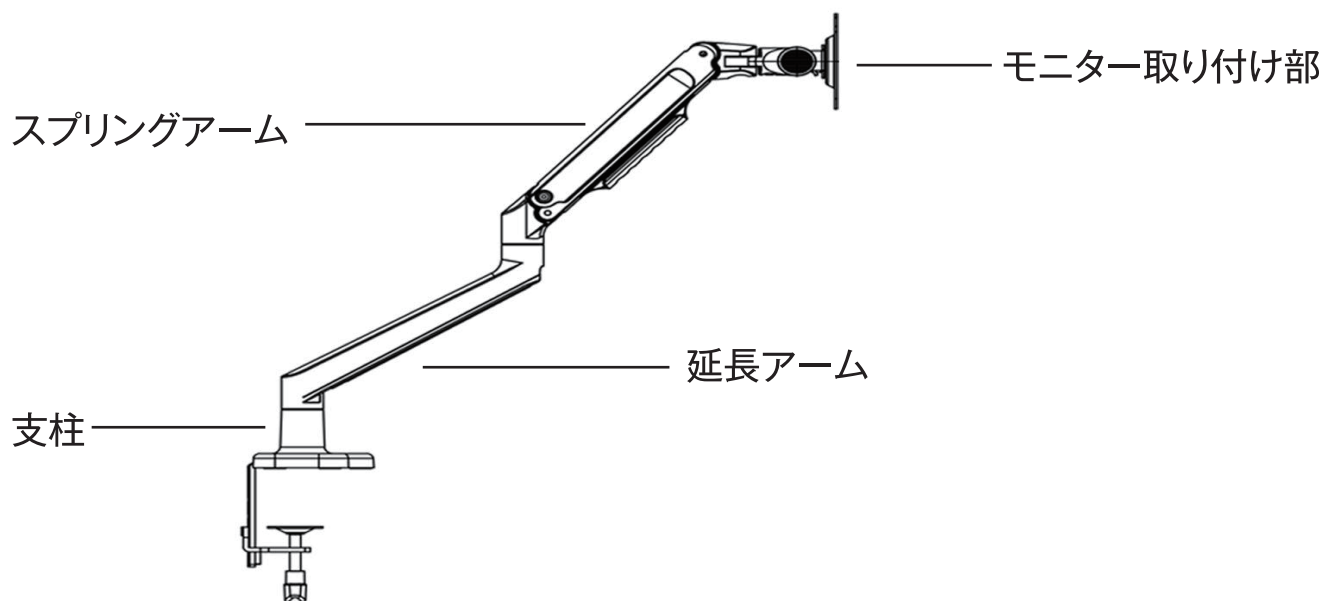
製品仕様

製品型番	モニターアーム V8	本体材質	アルミニウム合金
耐荷重	約 3 kg ~ 11 kg	対応 VESA サイズ	75*75 100*100
対応天板の厚さ	10mm ~ 80mm	対応モニターサイズ	最大約 34 インチ

可動範囲

延長アーム	360°(180°に制限可)	スプリングアーム	360°
モニター	上下：上 90°~下 25°；左右：360°；回り：360°(90°に制限可)		

完成図・各部の名称



組み立てキット

支柱 *1	延長アーム *1	スプリングアーム *1
レンチ	モニター取付用ネジ	位置制限用ネジ
<p>3mm</p> <p>4mm</p>	<p>10mm*4 8mm*4</p>	<p>六角ネジ *1 十字ネジ *1</p>
グロメットブラケット *1	グロメットボルト	グロメットツマミ *1
	<p>4 cm *1 · 8 cm *1</p>	

組み立て手順

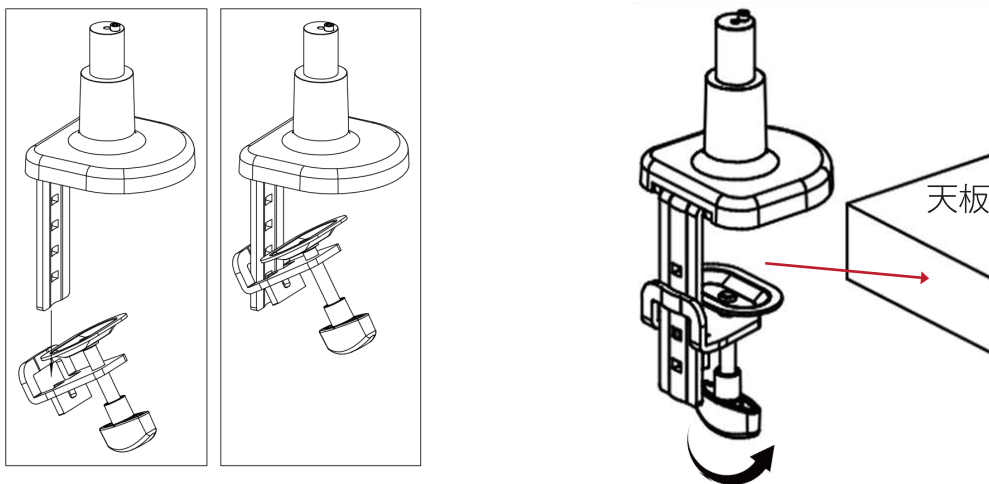
※デスクの天板の強度が長時間でモニターを取り付けた本製品に耐えられることを確認してから、お使いください。

一、支柱を取付ける

クランプで取付ける場合

(厚さ 10mm から 80mm までの天板対応可、天板の穴の直径が 40mm より大きいの場合でも対応可)

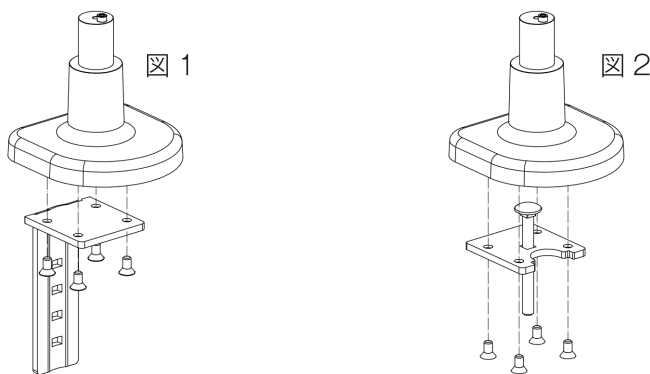
- 1 天板の厚さを測り、厚さによって支柱下部を支柱上部の適当な位置まで挿入しながら、天板をかさみ込む。
- 2 下のつかみを反時計回りして、天板にしっかり固定する。



グロメットで取付ける場合 (穴の直径 10mm 以上対応可)

※グロメットで取付けるのは取付け跡が残りやすいため、穴の直径が 40mm より大きい場合はクランプで取付けるのを勧めます。

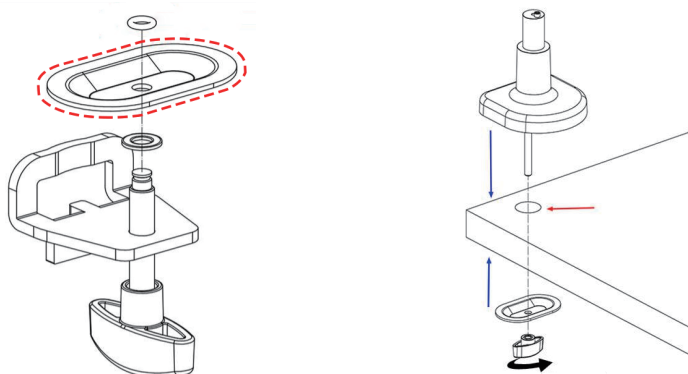
- ① 図 2 のように、支柱上部の裏面にある M4 ネジ 4 本をレンチで一旦取り外して、穴のあるクランプを外す。



- ② 部品の「グロメットブラケット」と「グロメットボルト 1 本」(天板の厚さによって適当の長さのボルトを選ぶ)を用意する。図 2 のように、前外した M4 ネジ 4 本で部品を支柱に固定する。天板の穴の上の部分が完成した。

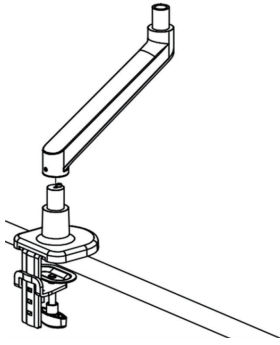
- ③ 支柱下部から楕円形のプレートを外す。

- ④ 部品のグロメットツマミとともに、天板の下から、グロメットボルトを通す。グロメットツマミをしっかり締めて支柱を天板に固定する。

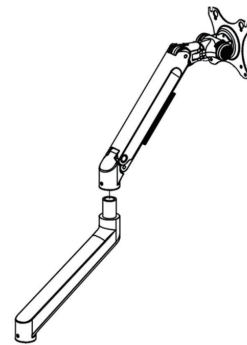


二、アームを取付ける

① 延長アームを支柱上部に差し込む。アームを回してみ、安定していることを確認する。



② スプリングアームを延長アームの上部に差し込む。アームを回してみ、安定していることを再度確認する。

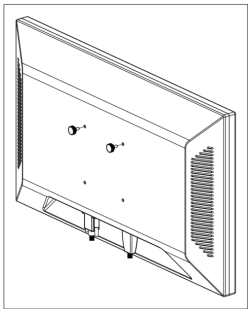


三、ディスプレイを取付ける (VESA 規格 75*75mm と 100*100mm 対応可)

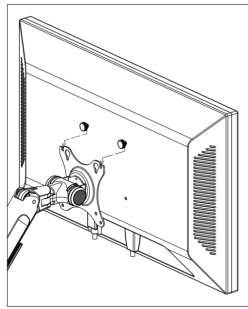
※VESA 規格で長さ 8mm と 10mm のネジを付属していますが、各モニターによって適當の長さが異なっています。長すぎるとモニターを壊す可能性があります。また、短すぎるとモニターがしっかりと固定できず、脱落する恐れがあります。

必ずモニターの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付用のネジを用意してください。

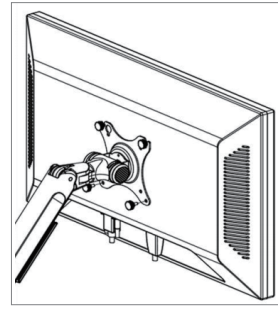
① 取付用ネジを2本をモニターの上部に付ける。



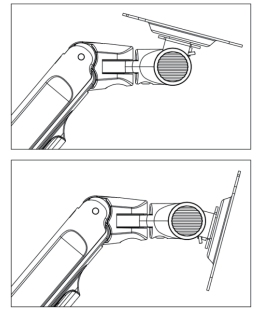
② 上の2本のネジでモニターを引っかかる。



③ 下のネジをつける

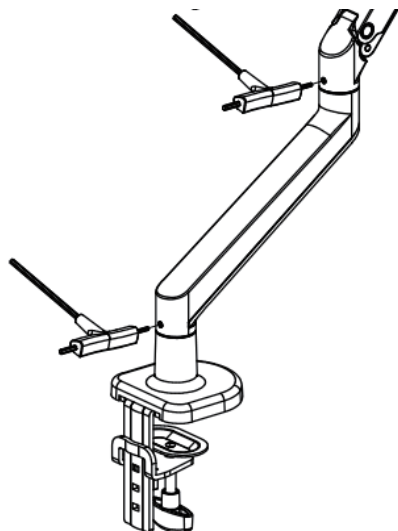


④ モニターを動いてみて、安定しているのを確かめる。
※モニターを動かす時は必ず両手で操作してください。



四、各部を調節する

※調節用のネジをきつく締めすぎたり、取り外したりしないように注意してください。故障の原因になります。

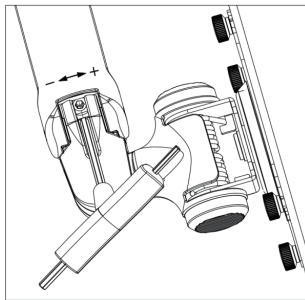
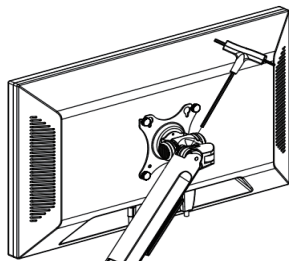


アームの動きの摩擦力を調節する

付属レンチの3mmのほうでスプリングアームと延長アームの下部にあるネジを回す。

時計回りは「摩擦力+」で、反時計回りは「摩擦力-」である。

回りすぎないで、適当に回してください。



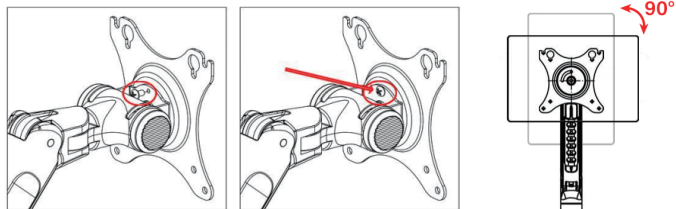
スプリングアームの強度を調節する

モニターが重くて、下に下がって保持できない時はスプリングの強度を強めに調節する必要がある。逆にモニターを下に押ししても動けない時はスプリングの強度を弱めにする必要がある。

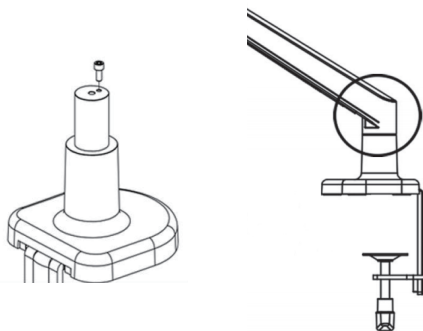
調節方法：付属の六角レンチの長いほうでスプリングアームの上部にあるネジを回す。時計回りは「摩擦力＋」で反時計回りは「摩擦力－」である。回りすぎないで、適当に回してください。

五、回りの範囲を制限する方法

① モニターを 360°回すと、ケーブルが引き落とされる恐れがあるため、モニターの回す範囲を 360°から 90°に制限できる。
制限したい時は位置制限用の十字ネジを VESA ブラケットの裏にある穴に締める。

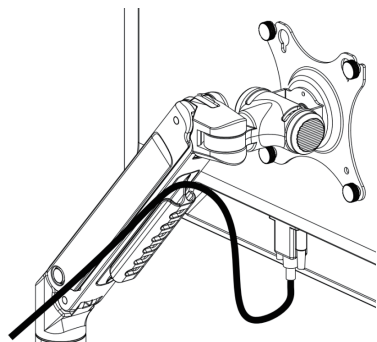


② 狭い範囲でご使用する時は、モニターが壁にぶつかるのを防ぐために、延長アームの回す範囲を 360°から 180°に制限できる。
制限したい時は位置制限用の六角ネジを支柱の上にある穴に締める。

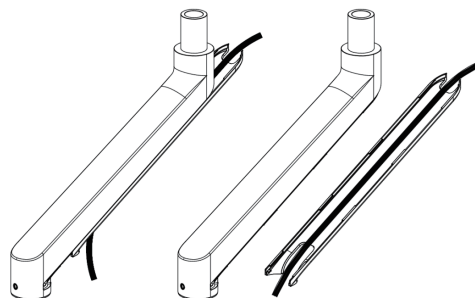


六、ケーブル受けにケーブルを通す

① スプリングアームの通し方
下部の両側にあるホルダーを引き開けて配線を挟み込む。



② 延長アームの通し方
下部の蓋をスライドさせて取外す。
ケーブルを通してから、またスライドさせて取付ける。



七、取付完成

ご使用中、装着するデスクの天板の状態を定期的にチェックしてください。また、製品固定用のネジなどがしっかり固定されて、アームやモニターが安定しているかどうかもお気をつけてください。

この度は弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございました。